

2019.7.2

大学図書館の活用と情報探索  
第11回  
総合演習

## 本講義の内容

---

- 課題（著作権クイズ）について
- 引用・参照の定義とルール
- 発表のポイント

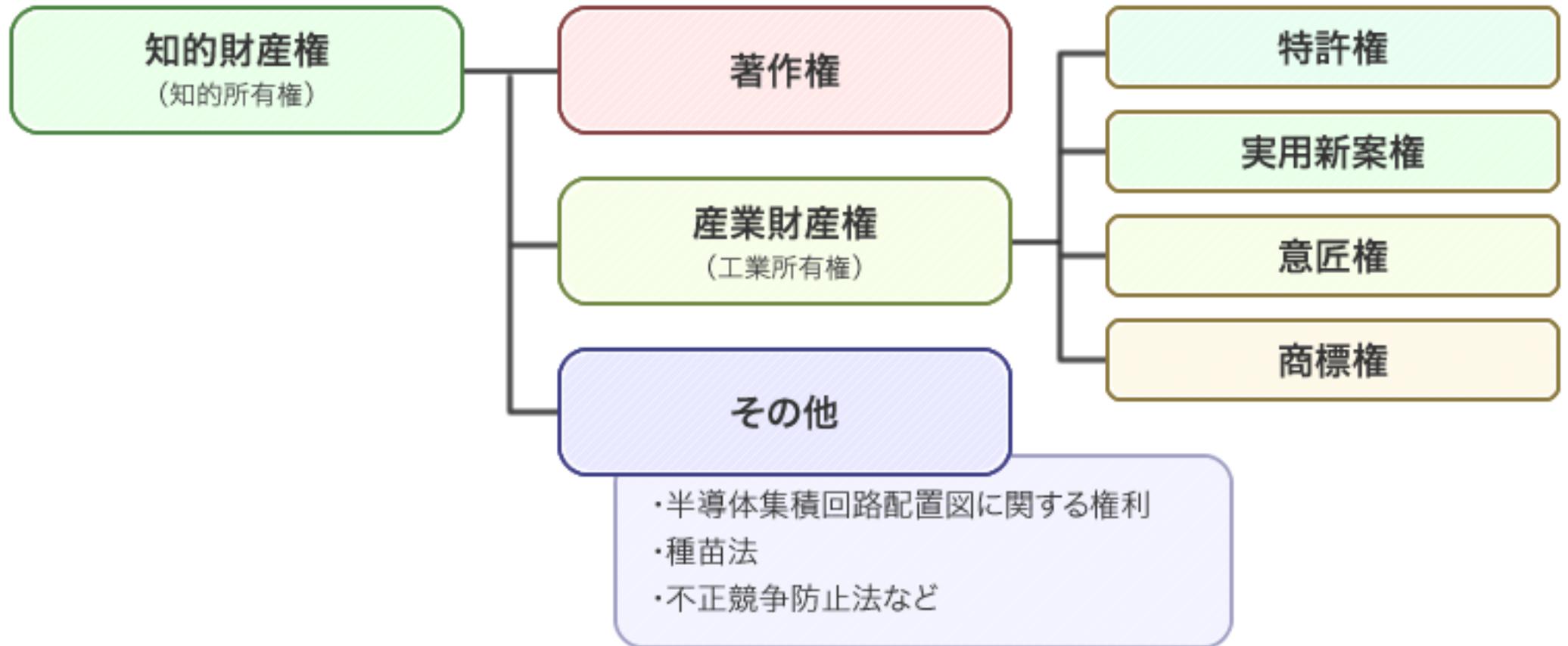
# 著作権クイズ

## 著作権クイズ1 (○/×)

---

- 著作権は商標権や特許権などと同様、「知的財産権」の一部である。
- ○

# 知的財産権



## 著作権クイズ2 (○/×)

---

- 自分のHP内に、無許可で他の人のHPのリンクを貼るのは著作権侵害である。
- ×
- 他人の著作物であるHPの内容の複製をつくったり、自らの著作物として送信しているわけではないので問題ない。

## 著作権クイズ3 (○/×)

---

- ディズニーキャラクターのイラストを描き、Tシャツにプリントし、フリマで販売する予定である。自分でイラストを描くので、著作権上は問題ない。
- ×
- 自分でイラストを描く場合でも、ディズニーキャラクターと分かるものを無許可で作成し、販売するのは著作権違反である。

## 著作権クイズ4 (○/×)

---

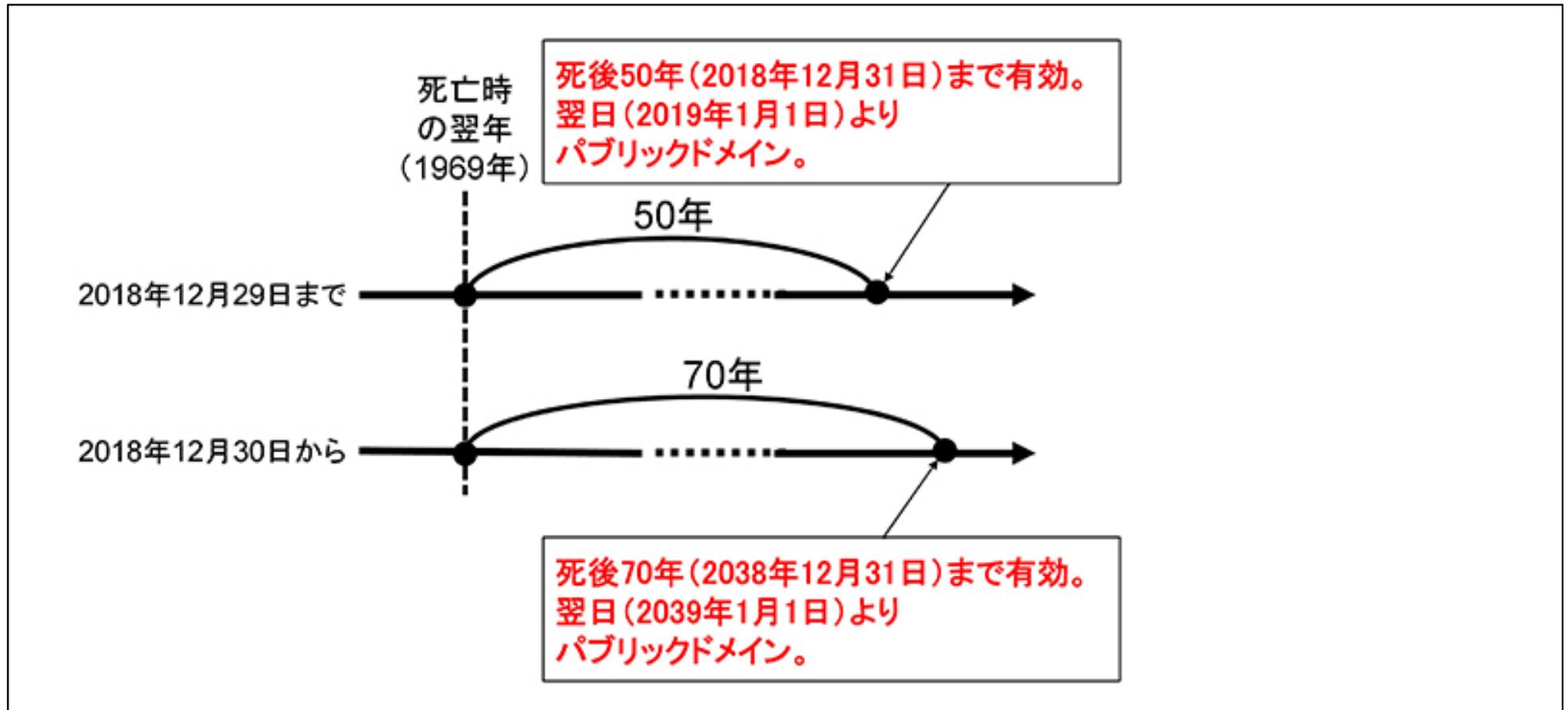
- 図書館資料は著作権法31条で資料の複製が認められているので、私的利用であれば図書1冊まるごとをコピーしてよい。
- ×
- 一部、つまり一冊の半分までが目安。雑誌論文の場合は、一論文ごとに著作とみなされるので、新刊をコピーする際は一論文の一部のみ。ただし、次号がでたのちは、一論文すべてをコピーしてもよい。

## 著作権クイズ5 (○/×)

---

- 『赤毛のアン』の翻訳者である村岡花子は1893年に生まれ、1968年に亡くなった。村岡花子の著作物の著作権は、2019年6月現在、消滅している。
- ×
- 著作権の保護期間は著者の死後70年である。

# 著作物の保護期間延長



文化庁HP. 著作物の保護期間の延長に関するQ and A.

[http://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/hokaisei/kantaiheiyo\\_chosakuken/1411890.html](http://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/hokaisei/kantaiheiyo_chosakuken/1411890.html), (参照2019-6-25)

# クリエイティブ・コモンズ

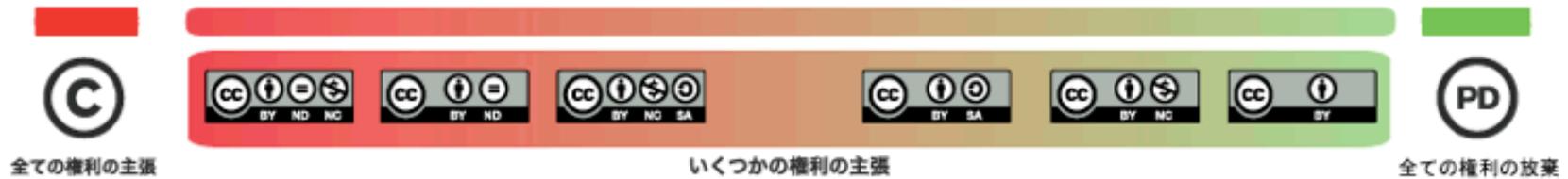


権利者の死後50年まで保護

もしくは



保護期間切、権利放棄





ウィキペディア  
フリー百科事典

メインページ  
コミュニティ・ポータル  
最近の出来事  
新しいページ  
最近の更新  
おまかせ表示  
練習用ページ  
アップロード (ウィキメディア・コモンズ)

ヘルプ  
ヘルプ  
井戸端  
お知らせ  
バグの報告  
寄付  
ウィキペディアに関するお問い合わせ  
ツール  
リンク元  
関連ページの更新状況  
ファイルをアップロード  
特別ページ  
この版への固定リンク  
ページ情報

ページ ノート

## 冷戦

「冷戦」のその他の用法については「冷戦 (曖昧さ回避)」をご覧ください。

**冷戦**（れいせん、英: Cold War、露: Холодная война）もしくは**冷たい戦争**（つめたいせんそう）は、第二次世界大戦後の世界を二分した西側諸国のアメリカを盟主とする資本主義・自由主義陣営と、東側諸国のソ連を盟主とする共産主義・社会主義陣営との対立構造。**米ソ冷戦**や**東西冷戦**とも呼ばれる。

### 目次 [非表示]

- 1 語源
- 2 概要
- 3 冷戦の展開
  - 3.1 起源 (1945年-)
    - 3.1.1 ポーランド問題
    - 3.1.2 ヘルリン問題
  - 3.2 冷戦のグローバル化 (1949年-)
  - 3.3 雪どけ (1955年-1958年)
  - 3.4 危機の時代 (1958年-1962年)
    - 3.4.1 ヘルリン危機 (1958年-1961年)
  - 3.5 冷戦の変容 (1963年-1968年)
  - 3.6 デタントの時代 (1969年-1979年)
  - 3.7 新冷戦 (1979年-1985年)
  - 3.8 終結過程 (1985年-1989年)
  - 3.9 ソビエト連邦の崩壊
  - 3.10 ポスト冷戦時代
- 4 東西陣営の主な国
  - 4.1 資本主義陣営 (西側)



1959年の世界の様子 (色分け)  
(フインレッド = フルシャワ条約 (WT) 加盟国  
朱色 = ソ連の他の同盟国 (東側諸国)  
青緑色 = 北大西洋条約 (NATO) 加盟国  
空色 = アメリカの他の同盟国 (西側諸国)  
緑 = 植民地  
灰色 = 非同盟諸国)



冷戦の多様化—1980年の世界 (色分け)



メインページ  
ようこそ  
コミュニティ・ポータル  
井戸端  
ヘルプ

言語選択  
日本語

参加  
ファイルをアップロード  
最近の更新  
新着ファイル  
おまかせ表示  
お問い合わせ

印刷/書き出し  
PDF形式で書き出す

ツール  
リンク元  
関連ページの更新状況  
特別ページ  
この版への固定リンク  
ページ情報  
このページを引用  
削除を依頼する

ログインしていません トーク 投稿記録 アカウント作成 ログ

ファイル 議論

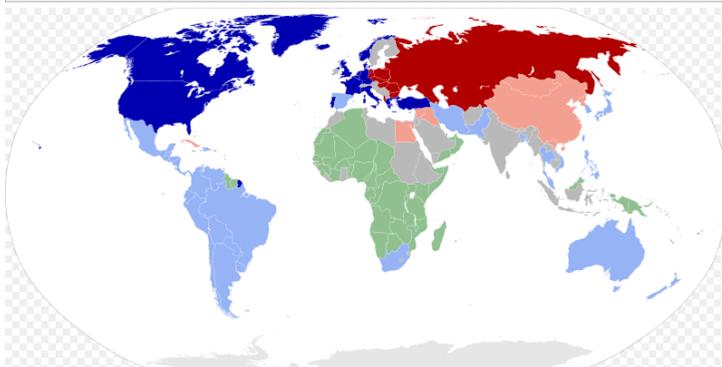
閲覧 編集 履歴表示

Wikimedia Commons内を検索

## File:Cold War Map 1959.svg

出典：ウィキメディア・コモンズ (Wikimedia Commons)

ファイル ファイルの履歴 ファイルの使用状況 グローバルなファイル使用状況 メタデータ



この SVG ファイルのこの PNG プレビューのサイズ: 800 × 406 ピクセル。その他の解像度: 320 × 162 ピクセル | 640 × 325 ピクセル | 1,024 × 512 ピクセル | 1,280 × 650 ピクセル | 940 × 477 ピクセル。

Language select: 日本語

元のファイル (SVG ファイル、940 × 477 ピクセル、ファイルサイズ: 853キロバイト)

メディアビューアーで開く

この画像の PNG 版は他のサイズでも利用可能です: 200px, 500px, 1000px, 2000px。

## ライセンス [編集]

この作品の著作権者である私は、この作品を以下のライセンスで提供します。



この文書は、フリーソフトウェア財団発行の**GNUフリー文書利用許諾書 (GNU Free Documentation License)** 1.2またはそれ以降のバージョンの規約に基づき、複製や再配布、改変が許可されます。不可変更部分、表紙、背表紙はありません。このライセンスの複製は、*GNUフリー文書利用許諾書*という章に含まれています。

This file is licensed under the [Creative Commons Attribution-Share Alike 4.0 International](#), [3.0 Unported](#), [2.5 Generic](#), [2.0 Generic](#) and [1.0 Generic](#) license.

あなたは以下の条件に従う場合に限り、自由に

- **共有** - 本作品を複製、頒布、展示、実演することができます。
- **再構成** - 二次的著作物を作成することができます。

あなたの従うべき条件は以下の通りです。

- **表示** - あなたは原著作者または許諾者が指定した方法でこの作品のクレジットを表示しなければなりません (ただしその人たちが、あなたを、あるいは、あなたのこの作品の使用を、推薦していると示唆するような方法はいかなる形でもいけません)。
- **継承** - あなたがこの作品を改変や変形したり、もしくはこの作品に基づいた作品を作る場合、あなたはその作品をこれと同一もしくは互換性のある許諾条件でのみ頒布できます。



あなたは上記のライセンスから、どれか一つ以上を選択することができます。

京都大学 KYOTO UNIVERSITY

日本語 English

京都大学貴重資料デジタルアーカイブ

コレクション 検索 お知らせ サイトについて 京都大学図書館機構

Image 1 of 5 Go

CONTENTS

Neue Zeyttung auss der Insel Japonien

ATtribution

Kyoto University Rare Materials Digital Archive

マニフェスト Universal Viewer Mirador

Neue Zeyttung auss der Insel Japonien

レコードID RB00007683

出版年 1586

別タイトル 天正遣欧使節肖像画||テンショウケンオウシセツショウゾウガ  
天正遣欧使節肖像図||テンショウケンオウシセツショウゾウス  
天正遣欧使節肖像||テンショウケンオウシセツショウゾウ

リンク  
 解題: 松田, 博「『天正遣欧使節肖像画』人物名異同のことなど」『静脩』38(3): 5-8 (2001)

登録番号	968943
NDC	210.48
作成年度	2018
権利関係	<b>FREE LICENSE with Attribution</b> 一次利用自由(所蔵表示)
二次利用方法	<a href="https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/reuse">https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/reuse</a>
所蔵	京都大学附属図書館 Main Library, Kyoto University
コレクション	一般貴重書(洋)
ピックアップ	時代の記録



京都大学貴重書デジタルアーカイブ「天正遣欧使節肖像画」<https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/item/rb00007683#?c=0&m=0&s=0&cv=0&r=0&xywh=-14451%2C-327%2C35364%2C6533>,  
 (参照2019-6-25)

引用と参照

- 共通点：持論を展開するために、先行研究をはじめとする文献を用いること。引用・参照した文献は文中と、文末のリストに明記。
- 引用：他者の意見や文章を、そのまま書き写す。「」や段を下げることで、自分の文章でないことを示す。
- 参照：他者の意見や文章を要約した上で、自論を展開する。複数の参照元を一文にまとめてもよい。

## 「引用」「参照」のルールやポイント

- 指定されたフォーマットで引用・参照し、および参考文献リストを作成する（今回はハーバード方式+SIST）
- 「自分の文章」が主で「引用部分」が従であることがはっきりわかるように書かれている
- 引用部分の明確化、被引用文献（出典）の明示
  - 「 」や “ ” でくくる
  - 長い文章の引用は「段下げ」（インデント）

## 「引用」「参照」の例：バンクーバー方式

- 本文中で参照した部分を、文献リストや註（脚注・文末註）で明示

- 文献リストは引用順

### 本文

はじめに

日本人の多くは伝統的な鰹・昆布ダシの風味を好むが、ダシに対する嗜好は日本のみならず世界中で見られる。中国では鶏湯、肉湯、排骨湯などのダシが使われることが多く、肉を煮出したブイヨン<sup>1)</sup>はフランスの代表的なダシと言える<sup>1)</sup>。

### 文 献

- 1) 二宮くみ子：うま味の世界、うま味の文化・UMAMIの科学（山口静子監修）丸善、東京 pp.35-64（1999）

# 「引用」「参照」の例：ハーバード方式

## 本文

さて、市民社会形成に関わる新中間層以外の担い手を構想する議論もある。オルタナティブな発展論が現地の知識人や宗教者、NGO関係者から出され、先進国の研究者も共感を示した（西川編,2001; 西川・野田編,2001;駒井,2001）。社会開発論は国際援助機関から

## 参考文献

西井涼子,2001,『死をめぐる実践宗教』世界思想社。

西川潤編,2001,『アジアの内発的発展』藤原書店。

西川潤・野田真理編,2001,『仏教・開発・NGO—タイ開発僧に学ぶ共生の智慧』新評論。

日本村落社会学会編,2004,『東アジア農村の兼業化—その持続性への展望』農文協。

- 本文中に、著者と出版年を明示。
- 文献リストは、五十音順

## 図・表の引用方法

### (1) 現在のASEAN (2014年)

加盟国 (10カ国：ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)			
面積	433万km <sup>2</sup>	日本 (36万km <sup>2</sup> ) の12倍	世界 (1億2,974万km <sup>2</sup> ) の3.3%
人口	6億2,329万人	日本 (1億2,713万人) の4.9倍	世界 (72億6,065万人) の8.6%
GDP	2兆4,780億米ドル	日本 (4兆6,015億米ドル) の53.9%	世界 (77兆8,688億米ドル) の3.2%
1人当たりGDP	3,976米ドル	日本 (36,194米ドル) の11.0%	世界平均 (10,725米ドル) の37.1%
貿易 (輸出+輸入)	2兆5,518億米ドル	日本 (1兆5,024億米ドル) の1.7倍	世界 (36兆6,819億米ドル) の7.0%

(出所) 面積、人口、GDP : World Bank, World Development Indicators database  
貿易 : IMF, Direction of Trade Statistics

(注) 1人当たりGDPは、名目GDPを人口で除して当課で試算

出典と加工  
方法を明記

# 「引用」「参照」の意味

## ●自分の意見や発想の根拠を明示する



➤先人達による学問の積み重ねの中に、何を付け加えたかを明らかにすることで、自分の発見の位置づけを明らかにする

➤今までの見解に反論する場合でも、「反論対象」の根拠を明示する

## ●自分の意見と他人の意見とを区別する

➤「盗作」と見なされる恐れがある  
⇒「著作権」侵害

## ●研究方法についても、引用・参照が求められる場合がある

発表のポイント

# 発表のポイント1

---

1. 関連資料を十分に網羅し、読み込んでいるか？
2. 関連資料のポイントを的確にとらえているか、他の人に分かりやすく伝えられているか
3. 各グループならではの着眼点で、先行研究を考察できているか

## 1. 分かりやすい資料の作成

- フォント：20PT以上      24PT      16PT
- 図の利用
- 目次の挿入

## 2. 魅力的なプレゼン

- 導入
- アイコンタクト
- 声の大きさ

## 発表のポイント3

---

引用と文献リストの書式をきちっとおさえる

⇒引用：文末註

参考文献リスト：SIST\_02 形式

●科学技術情報流通技術基準 参照文献の書き方

[http://sti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02\\_2007/main.htm](http://sti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm) の「5. 資料種類別の記述例」を参照する

●著者名の五十音順に作成、ウェブサイトは別項にまとめる